

平成 21 年東御市議会第 4 回定例会

市長招集あいさつ

(平成 21 年 11 月 27 日 午後 1 時 30 分開会)

はじめに

浅間の嶺が雪化粧をし、県の植樹祭を行った湯の丸高原からは早くも上質な粉雪が奏^{かな}でるシンフォニーが聞こえ、早晩^{そうばん}とうみの里にも本格的な冬将軍の到来間近を感じさせる今日この頃であります。

本日ここに平成 21 年東御市議会第 4 回定例会を招集申し上げましたところ、議員各位におかれましては、歳末を控え何かとご多端^{たたん}の折り、定刻にご出席いただきまして誠にありがとうございます。

今般提出致します議案をはじめ、市が直面致します喫緊^{きつきん}にして重要案件や課題の審議につきまして特段のご高配を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

□諸般の情勢

さて、秋以降新型インフルエンザが全国的に猛威^{もうい}を振るい、感染の拡大が懸念されておりましたが、市内においても患者数は増加の^{いっと}一途^{たど}を辿り、集団感染により保育園や小・中学校において学級閉鎖

や学年閉鎖を余儀なくされる状況が続いております。

罹患された皆様並びにご家族には、心からお見舞い申し上げます
と共に一日も早い快復をご祈念申し上げます。

市と致しましては、対策本部を中心に国・県・医療機関等と密接な連携を図りながら引き続き市民生活の安定化を主眼に対策を講じてまいります。

日本経済の情勢につきましては、昨年来の世界同時不況の影響から依然として脱却できずしております。

11月20日に発表された政府の月例経済報告の中で、経済の基調判断を「景気は、持ち直してきているが、自律性に乏しく、失業率が高水準にあるなど依然として厳しい状況にある。」とし、また政府首脳も「物価の動向を総合してみると、穏やかなデフレ状況にある。」と明言致しました。今後、デフレ不況による経済の停滞とデフレスパイラルへの危惧から社会全体に不安を残すところでもあります。

またハローワークにおける直近の有効求人倍率は、前月に比べ0.01ポイント上回ったものの、0.30倍と依然として低水準で推移しております。

今後も、企業の皆様を対象にした融資枠の確保をはじめ、生活対

策に関しましても、離職等により経済的に困窮こんきゆうした方々の生活再建を図るべく、福祉や住宅、納税をはじめ市民相談窓口を開設し懇切丁寧こんせつていねいな対応を行うとともに、「緊急雇用創出事業」や「ふるさと雇用再生特別事業」などを積極的に活用し、就業機会そうしゅつの創出に努めてまいります。更に、年末年始を迎えるこの時期、昨年引き続き年末特別相談窓口を開設し、お困りの皆様への生活不安かんわの緩和と支援を行ってまいります。

先行きは未だ不透明さが払拭ふつしょくされませんが、市と致しましては、今後も引き続き関係機関等と密接な連携を図りながら、市民生活の安定を最優先に、可能な限りの対策を講じてまいります。

民主党の歴史的な勝利に伴い政権交代が行われ、9月に鳩山政権が発足致しました。

前政権下で成立した補正予算に係る事業の一部凍結により、本市においても事業執行に影響があったところであります。

現在、国では新年度の予算編成に向け、各省庁からの概算要求に対し、不要不急な事業や過大な要求を精査する「事業仕分け」が衆人看視しゅうじんかんしのもとで行われております。

民主党がマニフェストに掲げた「地方への権限と財源の移譲」

や「補助金の一括交付金化」からも窺^{うかが}えるように、今後は現行の事業や地方財政制度の根幹に大きな変革がもたらされることが予想され、地方への影響と共にその動向を注視していく必要に迫られております。

国民が政権選択にあたり期待を寄せた「地域主権」を目指した制度の変更や見直しに関して、地方自治体との協議の場を設けたり生の声を反映する仕組みづくりを切望するところであります。

翻^{ひるがえ}って、本市においても、こうした国の状況と実際の現実を直視する中、当面の間、税収の大幅な減少を見込みつつ、来年度の実施計画の策定と新年度予算の編成作業をスタートさせたところであります。

私の直接関わる二度目の通年予算は来年度の任期の折り返しでもあり、併せて市の後期基本計画の本格的な具現化を図る初年度として大事な位置づけと考えております。

健全財政^{けんじ}の堅持を基本に、最小の経費で最大の効果を上げるよう行財政の簡素・効率化を図りながら、一層の経費の節減・合理化と財源の重点的配分に徹し、事務事業の「選択と集中」を念頭に市の間断^{かんだん}なき発展を期した予算編成になるとともに、普通交付税の、合併に伴う算定替^{さんていがえ}の終了^{にら}を睨み、一般財源の計画的な縮減を事務事業の見

直しなどにより積極的に実施するよう方針を示しました。

とりわけ、「東御市行政改革大綱」「集中改革プラン」や「定員適正化計画」の取り組みを推進して歳出の削減と財源の確保を図り、
新年度の重点施策に傾注^{けいちゅう}させたいと考えております。

市政をお預かりする責任者として市の進むべき方向を指し示し、
確実な一步を踏み出すべく、様々な施策を展開してまいります。

その考えの一端を、補正予算や条例を通して今回の議会定例会に
お示しさせていただきます。議員各位をはじめ、市民皆様方のご理
解とご協力を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

市内のうごき

ここで9月定例会以降の市内の動きを振り返りますと・・・

(10月3日は「東御の日」・エコライフ DAY)

「東御の日」は平成18年に制定され今年で4年目を迎え、「10
月3日は・・・東御の日」がすっかり定着してまいりました。

当日は式典において地方自治・教育・文化・社会福祉・市民生活
等各分野で功績のあった皆さん7名と、花いっぱいコンクールの入
賞者14名の皆さん、更に今年は食育推進の一環で新たに開催した

親子料理コンテストに入賞した 5 組の親子の皆さんにも表彰状を手渡しました。

また、昨年に引き続き東御の日に併せ、環境市民会議のご協力を得て「とうみエコライフ DAY」を設定し、地球温暖化問題に関心を持ち、市民みんなで環境を考える日と致しました。

(お元気な高齢者)

高齢化が加速度的に進む中、市内の高齢者が、お元気に活躍されています。

二日間にわたり敬老祝賀訪問を実施しましたが、今年度中にめでたく米寿^{べいじゅ}(88 歳)を迎えられた方が 139 名、白寿^{はくじゅ}(99 歳)が 4 名、100 歳の長寿者は 9 名おいでました。

東御市の基礎を築いていただいた皆さんには、地域の知恵袋・生き字引として、今後も健康で更なる長生きをして欲しいと願うものであります。

また、鴛鴦^{えんおう}の契りを結ばれ 50 年の幾星霜^{いくせいそう}を互いに手を携えて結婚を迎えられた「夫婦の鑑^{かがみ}」44 組の皆さん参加のもと祝賀式も行ないました。

更に、シルバーパワーは留まるどころを知らず、NPO 法人・信州未来広場の推奨する「昔あそびの伝承」を担う「花咲会」の皆さんはお手玉を通じて地域の活性化に貢献していただいております。

（「祭の秋」・・・）

「収穫の秋」は、同時に「お祭りの秋」でもあります。

市内では本年も、9月以降、「巨峰の王国まつり」・「火のアートフェスティバル」・「海野宿ふれあいまつり」と実行委員会の皆様のご尽力の下に毎月ビッグイベントが続きました。

巨峰の王国まつりにおいて、市の観光大使として大相撲元関脇・高見山の渡辺大五郎さんを委嘱、今後は知名度とお人柄で東御の名を全国に発信いただくことを期待しております。

火のアートフェスティバルでは、北御牧中学校の生徒さんを中心に今年初めてエコキャンドルの取組みを行いました。

登り窯から立ち上る勇壮な炎と相俟^{あいま}って、エコキャンドルの灰^{ほの}かな灯りが、明神池の夜の風景に^{いろどり}彩^{いろどり}が加わりました。

いずれも、絶好の天候に恵まれ、連日の賑わいの中、東御の秋を満喫いただいたものと嬉しく思います。

（「スポーツの秋」・・快挙続く）

「スポーツの秋」、市では市内各施設で総合体育大会を、芸術むら公園でマラソン大会を、市内全地区を周遊するコースで駅伝大会を開催いたしました。

特に 10 月 4 日に開催された総合体育大会には、19 競技に 3,000 人を超す参加をいただき、市の推し進める「一人 1 スポーツ」運動の着実な浸透が伺えました。

そんな中、県大会や全国大会で活躍する報告が幾つも舞い込んできました。

学校法人成田会・長野救命医療専門学校の軟式野球部は、県大会及び中部北信越大会を制し、岡山県で開催された全国大会出場を果たしました。

また、新潟県で開催された全国障害者スポーツ大会には、県の代表として昨年に引き続き 3 名が出場されました。

更に、今月 14、15 日に開催された長野県縦断駅伝競走において、市内から出場の 2 選手が重要区間を快走し、「上田東御小県」チームの一員として、栄えある総合初優勝に貢献されました。

いずれの皆さんも市の誇りであり、これから後が続こうとする皆さんの目標であり、励みにもなります。

（「芸術の秋」・・芸術むらの面目躍如）

「芸術の秋」、八重原の梅野記念絵画館・ふれあい館で行った企画展「稜線りょうせんの風のごとく 犬塚勉展」が、テレビ放映を機に大きな反響を呼び、初日から二日間で1,000人、10月17日から11月15日までの期間中には全国から8,594人もの来館者があり、芸術むら公園は大いに賑わいました。

無名の作家に着目し、一躍全国的に名を知らしめた梅野館長の確かな眼力に敬意を表します。

（「食欲の秋」・・地域食材を全国発信）

「食欲の秋」、市では、「食の掘り起こしプロジェクト」の一環として、地域食材の発掘や商品化を推進し、市内産食材のPRと地産地消、更には食を通じての地域の活性化を図ることを目的に、来年2月に一週間、JR構内で開かれる「信州冬のごちそう第3弾」において「エキナカビストロ」を開催することに致しました。

アドバイザーの藤木徳彦さんの提案により、地ビールやワインに合うメニューとして、地元の信大繊維学部附属大室農場で育てられたサフォークに着目し、市内の特産品の数々もふんだんに使用され、市の誇る食材が外に向かって発信されることとなります。

(情報伝達の切り札・・・コミュニティFM)

市民の新たな情報伝達手段として、来年秋を目標に「コミュニティFM放送局」の開局準備のため、設立準備会を立ち上げるとともに、関係機関への手続きを開始いたしました。

コミュニティFMは、市民の豊かでゆとりある生活と希望の持てる活気あるまちづくりの実現と、併せて防災・災害時におけるメディアとして大きな期待がかかります。

今後は、市民と行政に加え、地元事業者の皆様の協力を得ながら放送局の運営を模索していくこととなります。

この三ヶ月ばかりの間の主な動向について申し上げましたが、一年目に蒔いた種が徐々にではありますが萌芽し「小さくともキラリと光る東御市」に向けての光明がおぼろげながらも伺えてきました。

今後も、私自身が確実な一步を踏み出し、引き続き初心を忘れずに誠心誠意市政に携わってまいり所存でございますので、市民の皆様並びに議員各位におかれましては、尚一層のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

□本定例会の上程議案

それでは、本定例会に上程致します議案につきまして、順を追ってその概要を申し上げます。

(平成 21 年度補正予算について)

最初に、21年度の補正予算につきまして申し上げます。

議案第 82 号から議案第 88 号まで 一般会計、特別会計、事業会計合わせて 7 件でございます。

まず、平成 21 年度の一般会計補正予算第 4 号につきましては、新型インフルエンザ予防接種に係る生活保護世帯等の負担軽減を図るための専決処分をいたしましたので、このご承認をお願いするものでございます。

また、平成 21 年度の一般会計補正予算第 5 号でございますが、歳入歳出予算に 1 億 3, 4 1 5 万 7, 0 0 0 円を追加して、総額を 1 3 5 億 5, 8 1 4 万 8 0 0 0 円といたすものです。

その主なものは、

- ・コミュニティ放送局設立準備補助金
- ・柵津保育園仮園舎建設費
- ・舞台が丘整備の測量委託 のほか

・舞台が丘整備の基本設計委託の債務負担行為
など、次年度の主要事業に向けてのスタートに際して最低限必要な経費をお願いするものと、

- ・商工業振興助成事業補助金
- ・融資斡旋保証料
- ・法人市民税の還付金

など、景気の悪化を緩和する経済対策等に関わるもの
更には、

- ・自律支援給付費
- ・最終処分場廃プラスチック搬出委託
- ・小学校修繕等 の増額補正を行なうものであります。

また人件費につきましては人事異動及び人事院勧告（夏期分）に伴う減額補正をお願いするものがございます。

これらの財源と致しましては、県補助金・繰越金などを充てるものでございます。

このほか、国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、水道事業会計、下水道事業会計、病院事業会計の補正をお願いするものでございます。

一般会計の詳細と特別会計(国民健康保険特別会計および介護保

険特別会計)、事業会計(水道事業会計、下水道事業会計および病院事業会計)につきましては、それぞれ担当の部長等から細部に亘り提案の説明を申し上げることとなりますので、宜しくお願い申し上げます。

(条例の制定、一部改正について)

続いて、条例の制定並びに一部改正につきまして申し上げます。

議案第 89 号から議案第 97 号まで 今回、新たに制定致します条例が 1 件、一部を改正するものが 8 件、合わせて 9 件でございます。

議案第 89 号 条例につきましては、男女を問わず、個人がその能力と個性を十分に発揮できる社会の実現を旨とし当市に合致した形での「東御市男女共同参画推進条例」を新たに制定するものであります。

議案第 90 号から議案第 97 号まではいずれも既存条例の一部を改正するもので、主なものを申し上げます。

議案第 90 号「東御市職員の勤務時間及び休暇等に関する条例の一部を改正する条例」及び議案第 91 号「東御市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例」は、職員の勤務時間並びに給料月額、期末勤勉手当の額を改定するものでありまして、併せ

て特別職の職員及び議員各位の期末手当の額の改定を行うためのもの
のであります。

議案第 93 号「東御市福祉センター条例の一部を改正する条例」
及び議案第 94 号「東御市集落広場施設条例の一部を改正する条例」
は、それぞれ「御牧の家」、「憩いの家」の管理等を指定管理者に委
ねることを前提としたものであります。

議案第 96 号「東御市病院事業の設置等に関する条例の一部を改
正する条例」及び議案第 97 号「東御市病院等料金条例の一部を改
正する条例」は、来春の助産所開設にあたり、助産所の名称や診療
時間、更には分娩に伴う料金等を定めるためのものであります。

それぞれ担当の部長等から細部に亘り提案の説明を申し上げます
ので、宜しく願い申し上げます。

(その他の案件)

最後に、議案第 98 号 市有財産の譲渡につきましては「地方自
治法」の規定にもとづき、宮区公民館の地元区への無償譲渡に関し
て議会の議決をお願いするものでございます。

細部については、担当の部長から提案の説明を申し上げますので、
宜しくお願い申し上げます。

むすびに

以上、本定例会に提案致します議案につきまして、その概要を申し上げました。

十分にご審議をいただきますとともに、それぞれの案件につきましての承認・ご決定を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

このような時期にあたり、3万2千市民のために、自立したまちづくり、安定した市政運営を進めるべく、リーダーシップを発揮し、
ふんこつさいしん
粉骨砕身、誠心誠意努めてまいることを改めてここにお誓い申し上げます。
げ本定例議会招集のごあいさつと致します。